

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	児童サービス事業	会計	一般会計	事業No.	807	施策順No.	28-009
		事業種別	政策・その他	予算科目	0予算事業		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	図書館		
施策	28 学習交流活動の推進			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市内の0歳児～15歳児まで						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		市内の0歳児～15歳児(H21.10.1、H21.10.1,H21.10.1現在の住民登録人数)	16740	16507	15981	15795	15795	
	意図	本を読む楽しさと、調べる喜びを感じられるよう働きかける。生涯にわたり自主学習の基礎能力が育つ。言葉を獲得し、感性を磨き、表現力を高め、コミュニケーション力を豊かにする						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	全市児童書貸出冊数	358134	366242	382471	310000	362746	350000	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	中央図書館の長期臨時休館期間があったが、目標達成できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	次代を担う子どもたちに、本との出会いの場を提供する。 各種講座を開催し、保護者・保育園・幼稚園・小学校・中学校及びボランティア団体と連携を図りながら、読書習慣の定着化を図る。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 児童書の選書・リスト作成・配布事業 2 カウンターでの読書案内 3 お話会・お楽しみ会・保護者及び教師・保育士向け絵本及び児童書講座開催 4 読みきかせボランティア講座 5 こどもの読書推進講演会 6 「わが家の結いタイム」PR・推進	1 児童書選書受入冊数(全館) 2 全館 3 行事講座開催数・参加者数 (1)中央図書館 (2)県図書館 (3)上郷図書館 (4)16分館 4 講座 5 児童書に関する講演会 6 全市	1 9,715冊 2 常時 3 (1) 57回 1,111人 (2) 168回 3,624人 (3) 113回 3,649人 (4) 265回 12,297人 4 3回 104人 5 1回 72人 6 常時
23年度実施計画	「よむとすinいいだ」事業に統合	「よむとすinいいだ」事業に統合	

3 事業コスト

事業費	特定財源	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	*この事業費は図書館維持管理事業費・図書購入事業費・運営事業費に計上。
	国庫支出金 県支出金 起債 その他 一般財源				
	計 (A)	0	0	0	
	正規職員所要時間		5,000		
	臨時職員等所要時間				
	人件費計 (B)		17,880		
	トータルコスト A+B		17,880		

4 事業に対する市民や議会の意見

図書館利用者から現在の選書や職員の対応に理解をいただき、子どもが読書に親しむ機会が増え、積極的に読書が行われるようになったとの感想が寄せられている。議員や教育委員からも、読書を通じての家庭教育の充実と、人材の育成を望む声が高い。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	学びの機会が得られる。	施策の成果指標又はムトス指標	学習活動を行っている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	子どもに読書の楽しみと調べる喜びを味わわせることにより、想像力・表現力・コミュニケーション力が豊かになり、自主学習の基礎能力が育った。		
	後期に向けた課題	継続した活動。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	本との出会いの場を多く設けたり、子どもの心を養う本の紹介やリストづくり、子どもの周りにいる大人への啓発によるよりよい読書環境づくり。		
	後期に向けた課題	同上		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	職員が児童書について学び、情報を収集して選書に当たっている。		
	後期に向けた課題	特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	図書館法で無料の原則が謳われている。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①学校・保育園・読みきかせボランティアにより、子どもに本との出会いの場を提供。 ②活動の支援や協力、活動の状況把握。		
	後期に向けた課題	より一層の連携と継続した活動。		
全体を通じて	4年間の振り返り	児童の活字離れが問題になる中、次世代を担う子どもたちの読書環境の整備に努め、読書習慣を定着化させようと試みてきた。		
	後期に向けた課題	継続した働きかけと子どもをとりまく他の主体とのより一層の連携。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------